

V くまもと水ブランドの推進

本市は 74 万市民の水道水源を 100%天然地下水で賄い、水に関係する様々な伝統文化や歴史、食、風習など「水の風土と文化」が息づく都市です。本市にとっての水は、存立基盤として保全すべき資源であるとともに、魅力づくりに生かすべき資源でもあります。

そこで、平成 16 年度（2004 年度）の「くまもと水ブランド創造戦略調査」、平成 17 年度（2005 年度）の「くまもと水ブランド創造プロジェクト会議」での検討を経て、平成 18 年（2006 年）11 月に「くまもと水ブランド創造プラン・くまもとウォーターライフの創造と発信」を策定しました。

また、平成 26 年度（2014 年度）に策定した「第 2 次熊本市地下水保全プラン」を、令和 2 年（2020 年）3 月には「第 3 次熊本市地下水保全プラン」へ改定し、その方針と対策を位置づけ、水を本市の魅力づくりのための戦略資源として、「熊本といえば水」「水といえば熊本」と評価されるような更なる都市ブランドの創出に取り組んでいます。

1 基本戦略「くまもとウォーターライフ」とその目指す姿

くまもとウォーターライフは、100%天然地下水の暮らしをはじめ本市に息づく多様な水文化を、「ライフスタイル」という視点で総合的に演出し、環境の世紀にふさわしい本市ならではの水の生活文化を創造・発信することとしています。

「水に憩い遊ぶライフスタイル」「水で食と健康と活力を育むライフスタイル」「水に感謝し守るライフスタイル」の 3 つの目指すライフスタイル像を設定し、これらの実現と効果的な発信によって、「水」の都市ブランドを確立していきます。

【基本戦略のコンセプト】

水といのちが循環する美しい都市生活
くまもとウォーターライフ

わたしたち熊本市民は、
21 世紀という環境の世紀の担い手として
“天然地下水～ミネラルウォーター100%”という
自然の恵みに感謝し、
水に憩い・遊び、水で健康を育む
快適な日常生活を営むとともに、
この豊かな生活を支える水循環機能の
再生・保全活動に取り組み

水といのちが循環する美しい都市生活
「くまもとウォーターライフ」を確立し、
これを広く内外に発信するとともに、
次世代、そして次世紀へ継承します。

【シンボルマーク】



KUMAMOTO WATER LIFE

制作意図

水のゆらめきをモチーフに、水の恵みによる豊かでゆったりとしたライフスタイルを表現。3 層の水の流れは、下層から「地下水」、「川・海」、「雨」を表し、水の循環をシンボリックに示したデザインである。

2 具体的な取組

平成 18 年度（2006 年度）から始まった水ブランドの取組として、様々な P R 事業を実施してきました（巻末参考資料「水ブランド推進の年表」参照）。

(1) 熊本水遺産登録制度

本市の水にかかわる自然、歴史、風習、人物、芸術など有形又は・無形の資源を登録し、顕彰・保全する制度です。平成 17 年度（2006 年度）に創設し、現在 92 件を登録しています。

(2) くまもと「水」検定制度

全国初の水のご当地検定として平成 20 年度（2008 年度）から開始し、難易度別に 1 級～3 級を設け、合格者には合格認定証を交付しています。

令和 5 年度（2023 年度）は、第 15 回くまもと「水」検定として、令和 4 年度（2022 年度）に引き続き 1 級～3 級までの全級で試験を実施しました。

【令和 5 年度（2023 年度）実施状況】

3 級試験	通信制（郵送・インターネット）で、7 月 1 日から 10 月 31 日までの期間実施。入門レベルの 3 択 30 問。 受験者数 2,681 人、合格者数 2,373 人、県外受験者 164 人。
2 級試験	3 級より深い知識が求められるレベルの 5 択 50 問。受験者数 87 人、合格者数 38 人、県外受験なし。
1 級試験	12 月 3 日に熊本学園大学で実施。 1 級試験は、専門的な知識が求められるレベルで選択式、記述式、論述式の構成。受験者数 36 人、合格者数 7 人、県外受験なし。

【くまもと「水」検定の受験者数】

実施年度	3 級		2 級		1 級	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
平成 20 年度	7,930	7,293	644	446	未実施	
平成 21 年度	6,472	4,784	187	97	167	44
平成 22 年度	6,563	5,378	187	99	144	12
平成 23 年度	3,581	3,161	165	100	114	32
平成 24 年度	5,087	4,237	135	89	91	9
平成 25 年度	4,454	4,002	128	79	98	46
平成 26 年度	3,073	2,338	108	57	68	7
平成 27 年度	3,695	3,340	85	24	58	2
平成 28 年度	3,401	2,823	120	43	57	3
平成 29 年度	3,713	3,191	96	61	47	6
平成 30 年度	2,815	2,567	113	73	68	9

令和元年度	2,085	1,774	75	44	54	21
令和2年度	中止					
令和3年度	3,444	3,157	中止			
令和4年度	2,720	2,248	30	13	23	1
令和5年度	2,681	2,373	87	38	36	7
合計	61,714	52,666	2,160	1,263	1,025	199

(3) くまもと水守制度

本市の水保全や魅力発信の活動を行う人を“くまもと水守”の愛称で登録し、人材情報や活動情報を集約・発信するとともにネットワーク形成を図る制度です。平成20年度（2008年度）に創設し、令和5年度（2023年度）末時点で登録者は188名です。

(4) 街なか親水施設

平成23年（2011年）春の九州新幹線全線開業を機に、「地下水都市・熊本」を印象づける空間として、天然地下水（水道水）が味わえる「街なか親水施設」を熊本駅新幹線口から熊本城を中心とする中心市街地に整備しました。親水施設を巡りながら街めぐりができるような拠点に整備し、全ての水飲み場で熊本のおいしい水を味わうことができます。



阿蘇恵みの水

（熊本駅新幹線口（西口）駅前広場）



祇園さんの水

（祇園橋際ポケットパーク）



城下町の水

（明八橋そば）



せんばの水

（洗馬橋電停前）



城見の水

（熊本市役所前）

(5) 株式会社 良品計画との連携事業

株式会社 良品計画と「水を通じた持続可能な社会の実現のための連携協定」を締結し、市民参加型のワークショップなどを実施しています。

令和 5 年度（2023 年度）の実績はありません。

(6) 広報 P R

各種イベントにおいて、パンフレットをはじめとする広報資料の配布及び、S N S による情報発信を行いました。

(7) SDGs くまもと水の国プロジェクト NOW

「水の国高校生フォーラム」は、持続可能な開発目標として国連サミットで採択された SDGs「17 の目標」を踏まえた「熊本の水環境保全」の対象を小学生から一般の方までに拡大し、テレビ番組「SDGs くまもと水の国プロジェクト NOW」として放送されています。

※「水の国高校生フォーラム」とは、熊本県内の高校生を対象とした、地下水保全ならびに水ブランド情報発信の担い手育成として、熊本県、（公財）くまもと地下水財団、（株）テレビ熊本との共催により、平成 27 年（2015 年）～令和 3 年（2021 年）まで実施していました。